

医療栄養学科の人材育成に関する目的と3つのポリシー 【学士（医療栄養学）】

学部学科の人材育成に関する目的（甲南女子大学学則 第2条）

知性と品格を磨き、他者を思いやる豊かな人間性と倫理性を養うとともに栄養学の知識と実践力を修得する「全人栄養教育」を理念に掲げて、医療をはじめとする幅広い栄養学関連分野で管理栄養士として地域社会において活躍する人材を育成する。

ディプロマ・ポリシー			カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
DP1 知識・理解	(1)	食環境・食文化を含めた食に関わる幅広い知識と技能を修得し、栄養学の概念を論理的かつ科学的に理解している。	<p>医療栄養学科では、栄養学を幅広く修得して医療の領域を中心とした幅広い現場で管理栄養士として活躍できる人材の養成を目指す。教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）を以下のとおりとする。</p> <p>(1) 全学共通科目においては、社会人としての知の基盤となる、教養と幅広い知識を身につけることで豊かな人間性を養う。</p> <p>(2) 1年次に導入分野を開講することで、管理栄養士及び医療分野における専門職業人としての将来の進路に関心をもたせる。</p> <p>(3) 1年次から「管理栄養士養成課程におけるモデルコアカリキュラム」の教育内容に沿った専門基礎科目を開講し、栄養学を勉学する意志を高める。</p> <p>(4) 2年次から専門基礎科目に加えて新たに専門科目を開講して、講義と実習や演習を有機的に組み合わせることで学修することにより、医療栄養学の高度な専門知識と技能を修得する。</p> <p>(5) 3年次及び4年次においては、臨地実習を病院・老人介護施設・保健所・保健センター、特定給食施設などできめ細かな指導のもとに行うことで医療栄養学の知識に加え技能を修得し、医療施設を中心とした幅広い現場で実践できる能力を養う。</p> <p>(6) 看護リハビリテーション学部との連携科目を開講し、チーム医療の重要性を理解するとともに医療現場における実践的な能力を養う。</p> <p>(7) 臨床現場での経験を有する管理栄養士である実務家教員による実践的な講義と演習により、チーム医療の一員として、医療分野における専門職業人として活動できる能力を養う。</p> <p>(8) 4年次に卒業研究を全学生に課すことにより、医療栄養学における課題の発見・問題解決能力を涵養するとともに自学する能力を養う。</p>	<p>医療栄養学科では、以下のような学生を求めます。</p> <p>1. 関心・意欲・態度 食と健康に関心があり、医療分野における栄養学を学ぶ強い意志をもち、人間性と生命に対する畏敬の念を有する人</p> <p>2. 知識・教養 医療栄養学を学ぶにあたり、必要な基礎学力※を修得した人 ※高等学校までに履修した主要教科（理科、英語、数学、国語、社会）の基礎的な知識</p> <p>3. 思考力・判断力・表現力 知識・教養を基盤として、深い思考のもとに適切な判断ができる人 柔軟な思考のもとに自由な発想で問題を解決しようとする人 コミュニケーション能力を磨くことができ、自己表現能力を高めようとする人</p> <p>4. 協働性・主体性 思いやりの心をもち、多様性を尊重してチームワークのとれる豊かな人間性を持つ人</p>
	(2)	健康の維持・増進、疾病の予防・療養、介護予防に必要な栄養学及び関連学問分野の知識と技能を修得している。		
	(3)	医療に関わる専門職業人に必要とされる栄養学及び関連専門分野の知識と技能を修得している。		
DP2 汎用的技能	(1)	栄養と健康に関して、科学的根拠に基づいた論理的な思考ができる。		
	(2)	予防医学・治療医学の観点から、栄養に関わる諸問題を解決できる。		
	(3)	多職種との連携において、優れたコミュニケーション能力により、メンバーシップ及びリーダーシップを発揮できる。		
DP3 態度・志向性	(1)	職業倫理を基盤として、栄養管理に自律的に取り組む意欲をもっている。		
	(2)	医療を中心とした栄養学及び関連学問分野を生涯学び続ける強い意志をもっている。		
DP4 統合的な学習経験と創造的思考力	(1)	「全人栄養」を実践できる専門職業人として、自律的に課題を見出して解決する能力を身につけている。		
	(2)	地域・医療・福祉等の分野における多様なニーズに対応できる最新の知識と技能を修得し、全人栄養を実践できる。		
	(2)	常に自己を研鑽し続ける姿勢と能力を身につけている。		